



石破内閣誕生 危険な安全保障政策

自民党の新総裁に石破茂氏が決定。本人を含めてほとんどの人が予想しなかった結果だ。

案の定、統一教会問題では「組織的関係はない」などと言っていたが、朝日新聞には新たに統一教会幹部と安倍氏が懇談している写真が掲載され、選挙情勢をケントウシアッタ政策そっ



ちのけで『自民党は変わります！』などの掛け声だけが飛び交って、いままで自分たちが政権を握ってきたのに実行しなかった政策を並べて9人の候補が総裁選を争った。

最後はまたまた旧派閥の領袖に支援を頼む有様。この状況を選挙民はどう評価するのだろうか。それでもいつもの通り看板を掛けかえればご祝儀相場で自公政権は支持率を持ち直すのだろうか。

新内閣は？

石破氏は元防衛大臣。9条の会としては「憲法改正論」の行方を注目せざるを得ない。彼は「国会での議論を促進し、総理在任中の発議を実現」とすると表明。9条二項を廃止し自衛隊を国防軍に」さらに日米同盟の強化やアジア版NATO結成を提唱している。自民党の各勢力は競って改憲に対する熱意をひけらかす危険なレースをはじめている。「アメリカを基軸に」どのような同盟を作るのかという議論だ。

世界の平和をどう実現するのか、そのためには日本はどう貢献するのかという日本国憲法の視点を放棄し、世界の分断に加担する道をますます強める危険がある。

NATOは集団的自衛権を求める軍事同盟であり、加盟国のどこかが攻撃されたら、支援することになっており、NATO拡大がウクライナとロシアとの戦争にも大きな影を落とし、複雑にしている。

日本の憲法9条はこの道を禁じており、「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して」国際関係を築くことを求めている。この道を進めれば米中や米朝が対立を深め、万一衝突を起こせば、日本は戦闘に巻き込まれ、敵国を作ることになる。真っ先に日本の国内にある米軍基

地が攻撃される。そうなれば

「日本が攻撃されたのだから自衛隊も参戦する」

「参戦したからには勝たなければならない。」

「憲法だの平和だのと言ってる場合ではない。そういうやからは反日だ。非国民だ。」という世論が作られ、言論の自由が無くなり、戦時体制に突っ込んでいく。

◆そこで始まる戦争は第二次大戦の比ではない、大規模で悲惨な戦争になる。

水爆やミサイル、無人機やドローン、そしてGPSを使って宇宙から、さらにサイバー攻撃によって国家全体のインフラを破壊するなど新しい戦争であり、これが大規模に始まったら、相手国も当然被害を被ることになるが、日本はひとたまりもない。

食料もエネルギーも日本は輸入が止まればあっという間に枯渇する。

◆ウクライナでは他国と地続きで、600万人以上が国外に避難している。しかし日本は戦争を始めたら、国民に逃げ場はない。国民をどうするのかをまったく考えていないことは、かつての大戦のときの日本と変わらない。「国を守る戦争」は決して国民を守る道ではなく、国を戦に巻き込む道だ。

◆かつて日本の帝国軍隊は外国に膨張することのみを考え朝鮮や中国を侵略し、東南アジアを占領し、大東亜共栄圏を主張した。日本の国を守ると言いながら自国民を守ることを視野に入れていない。他国を侵略する軍隊を優先し、国民の食糧を守らずに軍に供給した。農民たちは自分でコメを作っていないが、地主に年貢米として納めるため、小作人・貧農は雑穀で飢えをしのいだ。しかし軍隊では例えば陸軍では1日6合の白米が支給された。徴兵された農民は「軍隊に入ると銀シャリが食える」と喜んだといわれる。

◆第一次大戦の最中にロシア革命がおこると、日本政府はこれをつぶすためにシベリア出兵をした。この報道がきっかけになって、米の需要拡大を当て込んだコメ商人などの買い占めが始まり、米価は3倍にもなった。富山に始まった米よこせの活動は全国に広がる米騒動となった。政府はこの原因を取り除くのでなく米騒動に加わった庶民に軍隊を差し向けて弾圧した。

また、戦争が始まって自国民が攻撃されることを考えず、末期になって空襲が始まると各自が手作りの防空壕を掘らせたり、爆撃の際にバケツリレーで消火に当たる程度のお粗末なものでしかなかった。

本気で“戦争から”国民を守る政策を！

S&Gのサウンドオブサイレンス

流山の平和のための戦争で講演をしていただいた伊藤千尋氏が「心の歌よ」という歌の本を3冊書いている。その3冊目にサイモンとガーファンクル（S&G）のサウンド・オブ・サイレンスと言う曲を紹介している。

1960年代、アメリカでは黒人差別に反対する活動も活発化していた。ベトナム戦争などで世界は冷戦と言われた東西対立や核戦争の危機などで世界は暗く不安に覆われて、多くの若者が世界をさまよってヒッピーになっていた頃、サイモンはパリを徘徊していた。そして1963年ケネディ暗殺受験が起こった。そんな出口の見つからない不安の中で彼が書いたのがこの曲だ。

やあ暗闇よ。昔ながらの友よ。
僕は君と話そうと思ってまたやってきたんだ。
それは密かに忍び寄ってきた幻影を見たから、
僕が眠っている間にその種がまかれたんだ
その幻影は僕の脳にしっかりと根付いて
今も頭に残っている 沈黙の音とともに



と彼は書いた。

続く歌詞には人々は「話さずに語る」とか、「聴かずに聞く」とか、「歌われない歌を書く」などの言葉によって疎外感に満ちた社会が描かれる。

話しても通じない。言葉のコミュニケーションが取れない。歌を作っても共有されない。もどかしさを書き連ねたのだ。最後は、「預言者の言葉は地下鉄の壁に、安アパートのホールに書かれており、沈黙の音の中でささやかれるのだ」で終わる。

一体何を言いたいのだろう「沈黙の音」は、まるで（ケネディが暗殺された）ダラスの街の沿道を埋めた大観衆によってかき消された狙撃の”音なき音”のようだとは連想したのである。特に1番の歌詞などは、沈黙の音と、かすかな銃声がよく符合する」。

「背景にあるのはケネディ暗殺事件だけではない。当時黒人の権利を求める公民権運動が高まり、その反動で白人の人種差別主義者が黒人や彼らに同調する白人を虐殺する事件が相次いだ。

この曲は3年後、ダスティン・ホフマン主演の映画「卒業」の中で挿入歌として使われ、世界に広まった。

今また世界はロシアやイスラエルの無慈悲な爆撃が繰り返され、自然災害も大型化して猛威を振るっている。国内では国民の代表である国会議員は裏金を作り、統一教会など外国勢力まで使って政治を左右。若者は競争社会の中で疲弊し未来を見通せない暗闇にいるかのように声をあげ辛い。若者が若者らしく未来を夢見て澆漓と生きられる世の中を一緒に目指したいものだ。（石林）

日本の飲み水が危ない PFASの測定と研究を急げ

日本の各地の水源からPFASが検出され、不安が広がっています。千葉県内でも柏市と白井市の境を流れる川や周辺の井戸などで、国の暫定目標値を上回って検出されています。



こうした状況を受けて2つの市に隣接する鎌ヶ谷市では川の上流部にあたる海上自衛隊下総航空基地に近い地域で、先月、17本の井戸の調査を行ったところ、このうち7本の井戸の水から国の値を超える濃度が検出され、最大で240倍に上ったと言います。

日本政府は基準値を決めながら、それを超える汚染が検出されている地域の原因究明も、詳しい検査も行おうとしません。その源は一部の企業もあるが、主な汚染源が自衛隊や米軍基地であることは明らかになっています。しかし米軍は立ち入り調査さえ認めないのです。東京横田基地では事故でPFOSを流出させたことが明らかになっています。

○米EPA（環境保護局）の飲み水基準値の3倍以上のPFASが検出された民間の井戸を優先して暫定的な浄化措置を始める

○すでに55の米軍基地で浄化措置を開始しているが、さらに新指針に適合する井戸を特定して追加措置を講じる

●米国外は適用除外

9月30日の東京新聞は次のように報じました。

米国防総省は9月4日米軍施設が汚染源であると特定した汚染地域の浄化を強化する新指針を公表しました。

またもや米国内の基準で禁止されても日本では垂れ流しという訳です。墜落事故や傷害事件などのたびに繰り返す植民地並みの扱いをされ、それに対して現場検証さえ許さない。PFASも暫定指針としているのは米側に配慮したのか、アメリカとは桁違いに緩やかな基準でしかないが、米軍は調査も認めないのです。速やかにPFASについての研究を進

日本のPFAS暫定指針値は欧米と比べ甘い

国など	PFASの種類	飲料水の上限値 (ng/L)
日本(20年)	PFOSとPFOAの合計値	50
アメリカ(22年)	PFOA	0.004
	PFOS	0.02
デンマーク(21年)	PFOA、PFOS、PFNA、PFHxSの合計値	2

め、明確な基準を定め、適正な規制を実施しなければ、日本人の命が危ない。

「九条の会・流山」宣伝と署名

◆10月9日(水) 15:30

おおたかの森駅自由通路

~~~~~  
カンパはこちらの郵便振替口座へ

00130-5-464735 口座名 九条の会・流山